

<開催のご案内>

「ソニー子ども科学教育プログラム」科学が好きな子どもを育てる教育実践
全国208校の小・中学校より選ばれた最優秀校

研究成果を発表する「子ども科学教育研究全国大会」開催
10月21日(金) 福島市立三河台小学校(福島県)
— 研究発表、公開授業、記念講演他 —

記念講演：川口 淳一郎 氏 (JAXA シニアフェロー)

後援：文部科学省、福島県教育委員会、福島県小・中学校長会 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田昌夫)は、2015年度「ソニー子ども科学教育プログラム」の教育助成論文で「最優秀校」に選ばれた福島市立三河台小学校(校長:佐藤 哲/福島県)にて、優れた教育実践を公開・発信する「子ども科学教育研究全国大会」を開催します。

「ソニー子ども科学教育プログラム」の論文募集は、1959年にソニー創業者の井深大が始めた教育助成活動です。昨年度に、最優秀校に選ばれた三河台小学校は、子どもたちの主体的学びを目指した独自のプランで、「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱とした教育活動に取り組んでこられました。本大会では、元文部科学事務次官 御手洗 康氏を含む審査委員より高く評価された実践の様子を、公開授業などを通じて全国の教育関係者のみなさまに広くご紹介します。

当日会場では、JAXAシニアフェロー 川口 淳一郎 氏による記念講演、同プログラムに入選した他県の理科教員によるポスターセッション、テーマごとに小グループに分かれた教員および参加者によるディスカッションなどを予定しています。

昨年10月に広島県で開催した全国大会には、全国の教育関係者、学生、地域や学校関係者を含め約400名が訪れました。素晴らしい取り組みと、次世代を担う子どもたちの学びの姿をぜひご覧ください。

※三河台小学校の最優秀論文全文はホームページでお読みいただけます
http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015_sci_mikawadai.pdf

※三河台小学校からのご案内(PDF)はこちらのページからご覧ください
http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/taikai/pdf/2016/2016_mikawadai_2nd.pdf



子ども科学教育研究全国大会(研究発表) 開催概要

福島市立三河台小学校 (福島県福島市三河南町 17-7)

開催日時：平成28年10月21日(金) 9:15~16:30

研究主題：「自分らしく科学し続ける子どもを育てる ~科学単元「サイエンスユニット」構想に基づく実践~」

内容：研究発表、各学年での授業公開、授業案や教材に関するディスカッション・ポスターセッションなど

記念講演：「やれる理由こそが着想を生む。」川口 淳一郎 氏 (JAXA シニアフェロー)

主催：三河台小学校、公益財団法人 ソニー教育財団、ソニー科学教育研究会

後援：文部科学省、福島県教育委員会、福島市教育委員会、福島県小・中学校長会 他

「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 最優秀校

福島市立三河台小学校（福島県）

テーマ：「自分らしく科学し続ける子どもを育てる ～科学単元「サイエンスユニット」構想に基づく実践～」
論文全文 (http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2015_sci_mikawadai.pdf)

【審査講評】

長年にわたって「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱とした教育活動に取り組んでこられました。本年度までの3年間は、科学単元「サイエンスユニット」構想による授業改善に取り組まれました。子どもたち一人一人が自分らしく科学し続けるという独自の具体的なプランが展開されています。「子どもの科学推進プロジェクト」や「科学ネットワーク」では、日ごろから子ども同士や先生方、地域の方がかかわって、科学に触れる活動や校内の環境づくりを行っています。近隣の高校と連携した科学体験活動など、学校と地域が一体となった着実な取り組みも実現されています。理科・生活科と他教科や総合的学習の時間で学習したことを結び付けて自分らしく主体的に科学することを目指す「サイエンスユニット」構想は、授業改善の一つの新たな方向を示しています。

■「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 とは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200校の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただきます。元文部科学事務次官の御手洗 康 氏を審査委員長に、各界の専門家が実践、考察・評価、次年度計画について審査します。予備審査・中間審査を経て、最優秀校など上位の入選候補校に関しては現地調査も行います。最優秀校は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。詳しくは、ホームページをご覧ください：<http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/index.html>

■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深 大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定子ども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む『科学する心』を見つけようフォトコンテストなど、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック: <https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>